

親子のふれあい応援

こそだて
シップ

大船渡で子育てスクール

今回講師を務めたのは、東京都を拠点に新

生児の家庭訪問などを行っている、助産師の熊澤貞子さんと渡邊寛子さんの2人。日ごろの育児で使える簡単な遊びや、育児の疲労回復に効くストレッチを

紹介した。遊び方の指導では、保護者が子どもをロケットのように持ち上げたり、リズムをつけて体をタッチしたりと、スキンシップのさまざまな工夫についてアドバイス。実践した子どもたちも、母親たちの明るい声にニッコリとした表情を見せた。

大船渡市のNPO法人こそだてシップ(伊藤怜子理事長)による第6回子育てスクールは18日、盛町のサン・リア内にある「すくすくルーム」で行われた。気仙の親子約10組が参加し、子どもとのふれあいに役立つ遊びなど知識を蓄えた。

同スクールは、気仙地域の子育てを応援する同法人の事業の一環。



指導のあとは、子育てについての悩み事相談も。助産師らが各家庭の声に耳を傾け、ベテランの立場から解決へのヒントを語りながら、育児をがんばる父母らにエールを送っていた。

新しい遊びを実践し笑顔を支わす親子ら＝サン・リア